

# 津波対策事業

## (R1 充当額 6,000,000 円)

東日本大震災の教訓や静岡県第4次地震被害想定を踏まえ、津波からの人的被害を軽減するため、沼津市地震・津波対策アクションプランに基づき、津波避難路や津波避難ビルの調査・整備、築山の整備等を行いました。



### 寄附金活用の例

#### 「静浦多比地区の津波避難路の改良」

沿道の古い石積みは、地震時に崩壊の恐れがあり、地元自治会から整備の要望がありました。



整備にかかる費用を地元自治会に補助金として交付し、安全なコンクリートブロック積みに改良しました。

「津波避難路」は大地震に伴う津波発生時に、高台へ避難するための重要な役割を担っています。実際の地震・津波発生時にその機能を発揮できるように、避難路及び沿道の整備や太陽光照明灯の設置を行っています（私有地についてはその費用に対して補助金を交付しています）。この財源に、みなさまからのふるさと納税による寄附金を活用させていただきました。



津波対策事業でふるさと納税による寄附金を活用したハード整備（令和元年度）

- ・津波避難路修繕工事（市道3路線）
- ・補助：津波避難路整備補助9路線、津波避難ビル整備補助1棟
- ・築山整備工事（砕石かご工、転落防止柵設置工）



～担当者より～

危機管理課ではこの津波対策事業を始め、市内各所の消火栓・防火水槽の新設・維持補修や地域の自主防災会への補助金など、防災・減災対策に幅広くふるさと納税による寄附金を活用させていただいております。今後とも、ご支援をよろしくお願いいたします。